



2026-27年度 クラブ会長方針
「絆を深め、未来へつなぐ」

広島中央ロータリークラブ
2026 - 2027年度
事業計画書

2026-27年度 クラブ会長方針



会長 宗正 俊文

「絆を深め、未来へつなぐ」

国際ロータリー2026-27年度会長のオンラインカ・ハキーム・ババロラ氏は、会長メッセージとして「Create Lasting Impact（持続可能なインパクトを生み出そう）」を掲げられました。これは、奉仕活動を通じて社会に持続的な変化をもたらすとともに、誰もが歓迎され参加しやすいクラブ環境を育むことの大切さを示しています。

また、第2710地区ガバナー信条は「和と絆 With One Heart（心一つに）」であります。ロータリーの「和」を大切にしながら、人と人との「絆」を深め、クラブが心をつなげて地域社会に貢献していくことの重要性が示されています。

私は、ロータリーの原点はやはり「人と人とのつながり」にあると考えております。職業や世代を超えて集う仲間が互いに理解し、信頼関係を築くことで生まれる「絆」がクラブの力となり、その力が奉仕活動を通じて社会へ持続的なインパクトをもたらすものと確信しております。

本年度は、会員相互の親睦と信頼関係をさらに深め、誰もが安心して参加できる温かく活気あるクラブづくりを大切にまいります。また、平和都市広島の一員として地域社会に根ざした奉仕活動を行い、将来にわたって継続できる意義ある活動を進めてまいります。

また、2年後には創立50周年という大きな節目を迎えます。

本年度から少しずつ準備を重ねていくことが、次年度以降のクラブにとっても確かな土台となり、未来へと続く持続可能なクラブ運営につながるものと考えております。これまでの歩みを振り返り、その歴史を整理しながら、次の世代へ誇りをもって引き継げる基盤づくりを、できることから着実に進めてまいります。

微力ではございますが、会員の皆さまと力を合わせ、広島中央ロータリークラブがこれからも誇りをもって歩み続けられる一年となるよう、誠心誠意努めてまいります。

何卒、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

【2026～2027年度 広島中央ロータリークラブ所属委員会】

■ 理事役員

(2026.7.1 - 2027.6.30)

会 長	(理事) 宗正 俊文 ※	会員組織	(理事) 西井 裕昭 ※
直前会長	(理事) 三宅 朗充 ※	奉仕プロジェクト	(理事) 光村 圭介 ※
会長エレクト	(理事) 下原 唯千夏 ※	ロータリー財団	(理事) 砂田 恭延 ※
副会長	(理事) 小林 正夫 ※	クラブ広報	(理事) 大田 由孝 ※
副会長	(理事) 大内 総一郎 ※	クラブ管理運営	(理事) 好永 裕一 ※
幹 事	(理事) 猪垣 耕一 ※	会 計	(理事) 芥川 宏 ※
副幹事	沖本 頼政 ※	S.A.A.・出席	(役員) 大本 恭久 ※
副幹事	上田 恵 ※		

■ 会員組織委員会

(理事) 西井 裕昭

※ 兼務

委員会名	委員長	副委員長	担 当 委 員			
会員増強・職業分類	山野井 秀樹※	榎殿 公誉※	緒方 俊平	橋本 満※	河野 隆	村本 恵康
ロータリー情報(研修リーダー)	大内 総一郎※	大坂 隆志※	田原 榮一※	杉本 嘉朗※	迫田 勝明	城本 健司※

■ 奉仕プロジェクト委員会

(理事) 光村 圭介

委員会名	委員長	副委員長	担 当 委 員				
職業奉仕	宮下 佳昌※	山本 雅音※	吉清 有三	上原 悠爾	小佐古 哲哉※	吉川 修平	福田 浩
人間尊重・社会奉仕	新宮 且識※	古澤 宰治※	嶋本 文雄	戸田 幹雄	城本 健司※	田中 純子	山肩 俊晴
国際奉仕	岡田 茂※	木内 良明※	砂田 恭延※	土谷 治子※	上土井 幸始※	金原 幸夫※	赤羽 隆太郎※
			松宮 佳佑※	神保 健一※	金井 貴裕※	新宅 栄三※	上田 恵※
青少年奉仕・ローターアクト	馬野 恭彰※	大内 総一郎※	出崎 邦彦	芥川 宏※	大坂 隆志※	淀江 晃太郎※	

■ ロータリー財団委員会

(理事) 砂田 恭延

委員会名	委員長	副委員長	担 当 委 員			
ロータリー財団・米山奨学	長場 誠※	西川 済※	杉本 嘉朗※	古澤 宰治※	吉川 恵※	山本 雅音※

■ クラブ広報委員会

(理事) 大田 由孝

委員会名	委員長	副委員長	担 当 委 員			
公共イメージ	上土井 幸始※	松宮 佳佑※	通谷 章	長場 誠※	平瀬 春男※	蛇虺 悠太※

■ クラブ管理運営委員会

(理事) 好永 裕一

委員会名	委員長	副委員長	担 当 委 員				
親 睦	金原 幸夫※	平瀬 春男※	大坂 隆志※	新宮 且識※	西川 済※	加藤 孝子※	馬野 恭彰※
			光村 圭介※	沖本 頼政※	山本 雅音※	松宮 佳佑※	神保 健一※
			金井 貴裕※	新宅 栄三※	蛇虺 悠太※	上田 恵※	
プログラム	淀江 晃太郎※	加藤 孝子※	吉川 恵※	三宅 朗充※	宮下 佳昌※	沖本 頼政※	
S. A. A. ・出席	大本 恭久※	赤羽 隆太郎※	大坂 隆志※	榎殿 公誉※	金光 栄吉※	木内 良明※	神保 健一※
			新宅 栄三※	蛇虺 悠太※			
会 計	芥川 宏※	小佐古 哲哉	原田 啓吾	城川 大二郎	金光 栄吉※	大本 恭久※	

特 別 委 員 会

委員会名	委員長	副委員長	担 当 委 員			
国際交流基金特別委員会	宗正 俊文※	猪垣 耕一※	杉本 嘉朗※	嶋本 文雄※	大田 由孝※	馬野 恭彰※
戦略計画委員会	山野井 秀樹※	藤村 欣吾	田原 榮一※	三宅 朗充※	宗正 俊文※	下原 唯千夏※
がん予防啓発推進委員会	小林 正夫※	西川 公一郎※	平松 恵一	土肥 博雄	土谷 治子※	高蓋 寿朗
台中西区RC姉妹クラブ委員会	橋本 満※	砂田 恭延※				
創立50周年記念事業実行委員会	砂田 恭延※	猪垣 耕一※	古澤 宰治※	小林 正夫※	西井 裕昭※	山野井 秀樹※
		馬野 恭彰※	平瀬 春男※	三宅 朗充※	下原 唯千夏※	好永 裕一※

○会計監査委員 赤羽 隆太郎 ※

○合同事務局運営委員 猪垣 耕一 ※

○危機管理委員 猪垣 耕一 ※

会員組織委員会

理事・委員長 西井 裕昭



1. 方針

本年、当ロータリークラブは創立48周年を迎えます。創立50周年まで2年となりました。創立50周年に向けて会員増強委員会・ロータリー情報委員会と連携をして会員拡大、並びに、退会防止につながる活動を展開していきます。

2. 計画

- ①会員増強の純増3名を目指します。
- ②創立50周年に会員数75名を実現させる為の体制づくりを行います。
- ③ファイヤーサイドミーティングを活用し、ロータリークラブを楽しんで頂ける環境をつくり、会員の退会防止に努めます。
- ④研修セミナーを開催し、ロータリークラブへの理解、基礎知識を深めて頂きます。通常であれば3年未満の会員を対象としますが、コロナ禍で研修を受けられていない近年入会者の方もありますので、本年度は、5年未満を対象とします。

会員増強・職業分類

委員長 山野井 秀樹



1. 方針

会長方針を踏まえ、会員増強、退会防止に努め、各委員会や同好会活動を通じて広島中央RCの魅力を発信し、会員一丸となって創立50周年に向けて、委員会活動に努めてまいります。

2. 計画

- ①本年度純増3名を目指します。
- ②退会者が出ないようクラブの魅力発信と退会防止策に注力していきます。
- ③入会候補者の例会招待、入会後のフォローアップに取り組めます。
- ④創立50周年に75名の会員数に向け、クラブ会員と協力し会員増強に取り組むための策を構築していきます。

3. 予算 50,000円

ロータリー情報

委員長 大内 総一郎



1. 方針

会長方針である「絆を深め、未来へつなぐ」を踏まえて、新会員には、50周年に向けて活躍して頂けるようロータリー情報をしっかりと提供していきます。

また、入会5年未満の会員を対象としロータリーの知識を楽しみながら深めて頂く場を設け、会員同士の親睦も図れるようにしたいと思います。

2. 計画

- ①入会予定者に対し、推薦者と共に会社訪問しロータリーへの理解を深めて頂くために面談・説明を行います。
- ②例会にゲストで来られた際は、スムーズな入会に向けてロータリー情報の説明を行います。
- ③入会後も、ファイヤーサイドミーティングを開催し、ロータリーの基礎知識を学んでいただくと共に、楽しくロータリー活動を出来る環境を創りたいと思います。
- ④コロナの影響で開催されていなかったため、入会5年未満の会員を対象に、ロータリーの知識を深めるために、研修会を開催します。

3. 予算 50,000円

奉仕プロジェクト委員会

理事・委員長 光村 圭介



1. 方針

会長方針である「絆を深め、未来へつなぐ」を踏まえ、奉仕活動を通じて、広島中央ロータリークラブや他クラブとの絆を深めながら、未来へ続く活動になるよう取り組んでまいります。

また、平和都市広島の中で広島中央ロータリークラブらしい地域社会への奉仕活動を実施できるよう取り組んでまいります。

2. 計画

(1)職業奉仕

- ①四つのテスト、ロータリアンの行動規範の毎月例会において唱和
- ②職業奉仕月間に職場訪問例会を実施
- ③職業スキルの向上に務める会員卓話の実施
- ④健康診断の斡旋
- ⑤職業奉仕実践に貢献した優良従業員の募集・表彰

(2)人間尊重・社会奉仕

- ①8月6日、平和記念式典への参列者への「おもてなし事業」を実施
- ②会員企業に協力を仰ぎ、献血支援活動の実施
- ③前年同様地区補助金を活用し、車いすソフトボール支援団体に競技用のボール及びグローブ等を贈呈し、障がい者スポーツの普及活動の支援

(3)国際奉仕委員会

- ①古切手、書き損じはがき（未使用可）、外貨の収集
- ②国際奉仕、支援活動
- ③地区補助金を活用した支援事業
- ④姉妹クラブ、他クラブとの連携、交流台中西区RC、他クラブとの連携交流促進

(4)青少年奉仕・ローターアクト

- ①広島中央ローターアクトクラブで計画している事業に積極的に参加し協力・支援
- ②ローターアクトクラブ例会・RYLAに参加、青少年奉仕に効果的な活動について検討
- ③ローターアクトクラブへの理解・支援の促進
- ④ローターアクトクラブの会員増強

職業奉仕

委員長 宮下 佳昌



1. 方針

ロータリークラブの原点に踏まえ倫理的行動規範、職業奉仕の考え方や取り組みを学び発信すると共に、ロータリー活動を通じて多くの笑顔が得られ人生に彩りが添えられるようにするにはどうすれば良いかを考え実施をしていきたい。

2. 計画

- ①職業や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針として「四つのテスト」「ロータリアンの行動規範」を、毎月例会において唱和します。
- ②職業奉仕月間に職場訪問例会を実施
- ③プログラム委員会と連携し、職業スキルの向上に務めるよう会員卓話の実施を図ります。
- ④職業奉仕の原点でもあります、健康保持のため健康診断の斡旋を行います。
- ⑤会員の職業奉仕実践に貢献した優良従業員の募集・表彰を行います。

3. 予算

一般会計	70,000円
ニコニコ会計	100,000円

人間尊重・社会奉仕

委員長 新宮 且識



1. 方針

会長方針「絆を深め、未来へつなぐ」を踏まえ、ロータリアンらしく奉仕活動に取り組みたいと思います。

2. 計画

- ①8月6日、平和記念式典への参列者に対する「おもてなし事業」を継続して行う。
- ②会員企業に協力を仰ぎ、献血支援活動を継続して行う。
- ③前年同様地区補助金を活用し、車いすソフトボール支援団体に競技用のボール及びグローブ等を贈呈し、障がい者スポーツの普及活動を支援する。

3. 予算 300,000円（地区補助金は除く）

国際奉仕

委員長 岡田 茂



1. 方針

会長方針である「絆を深め、未来へつなぐ」を基本に、当クラブの独自性を生かした奉仕活動に取り組んで参ります。従来から取り組んでいる国際奉仕活動の継続とクラブ内や他クラブ・団体との交流、連携に取り組んで参ります。

将来に向けて、皆さまと一緒に持続可能な国際奉仕の形を考えていきたいと思っております。

2. 計画

- ①古切手、書き損じはがき（未使用可）、外貨の収集
収集されたこれらは、「日本国際ボランティアセンター（JVC）を通じて、現金化され、発展途上国の恵まれない方々への原資とされています。このことを会員の皆さまに周知し、理解と協力を求めています。
- ②国際奉仕、支援活動
将来に向けて、国際奉仕の取り組みについて理解を深め、皆さまと一緒に持続可能な国際奉仕の形を考えていきたいと思っております。可能であれば、委員会やアンケートで意見を募り、例会でフォーラムを開催していきます。
- ③地区補助金を活用した支援事業
将来に向けて、新たな支援事業を、他クラブの事例も参考に、人間尊重・社会奉仕委員会と連携して検討してまいります。
- ④姉妹クラブ、他クラブとの連携、交流
台中西区RC、他クラブとの連携交流は、従来通り、進めていきます。
地区委員会方針のとおり、韓国3690地区との交流促進、国際大会（2027年5月バルセロナ）への参加促進を進めていきます。

3. 予算 150,000円

青少年奉仕・ローターアクト

委員長 馬野 恭彰



1. 方針

今年度は広島中央ローターアクトクラブから地区代表を輩出いたします。円滑に運営できるよう連携し、意思疎通を図りながら進めてまいります。また、会員増強はもちろんアクトメンバーとも親睦を深めより良い活動ができるよう支援して参ります。

2. 計画

- ①今年度、広島中央ローターアクトクラブで計画している事業に積極的に参加し協力・支援する。
- ②ローターアクトクラブ例会・RYLAに参加し、青少年奉仕に効果的な活動について検討する。
- ③ローターアクトクラブを理解・支援してもらえよう努める。
- ④ローターアクトクラブの会員増強に努める。

3. 予算

本会計 100,000円
ニコニコ会計 700,000円

ロータリー財団委員会

理事・委員長 砂田 恭延



1. 方針

宗正会長方針である「絆を深め、未来へつなぐ」に基づき、「世界で良いことをしよう」という理念のもと設立されたロータリー財団の主旨を会員の皆様に理解いただき、ご協力頂けるよう取り組む。

2. 計画

- ①米山月間・ロータリー財団月間でフォーラムを開催し、ロータリー財団委員会の情報提供と理解促進を図る。
- ②ロータリー財団及び米山奨学会への寄付目標を達成する。
- ③奉仕プロジェクト委員会と協力して地区補助金事業の計画立案を行う。

ロータリー財団・米山奨学

委員長 長場 誠



1. 方針

- (ア)会長方針である「絆を深め、未来へつなぐ」を念頭において活動する。
- (イ)①「世界でよいことをしよう」という目的をもって設立されたロータリー財団、及び、②母国と日本の架け橋となり国際社会で活躍する留学生の援助を目的として設立された米山記念奨学会の理解を深めてもらう。

2. 計画

- (ア)寄付目標
- a 年次寄付150ドル/人
 - b ベネファクター1人/クラブ
 - c ポリオプラス30ドル/人
 - d 米山基金16,000円/人
 - e 米山学友会賛助会員 50%/クラブ会員
- (イ)定例会の委員会報告
- a ロータリー財団及び米山記念奨学会の情報を提供する。ロータリー財団について、ポリオプラスをはじめ世界でよいことをしている事例を紹介する。また、グローバル補助金の獲得に向けて諸手続を行うとともに、実際に補助金を獲得した他クラブの活動事例を報告する。
 - b ロータリー財団室News、ハイライト米山の情報提供をする。
 - c 定期的に寄付先、寄付理由等を例会等で報告し、会員に寄付に対する理解を得ることができるようにする。
- (ウ)米山月間(10月5日)
- a 比治山大学のダオ ティ ゴック リンさんの卓話を行う。また、直近の米山記念奨学会の情報を提供する。
 - b 米山功労者の募集(1名)。
- (エ)ロータリー財団月間(11月9日)
- a 例年どおり、ポールハリスフェロー・マルチプルポールハリスフェロー認証促進運動を実施する。5名を目標に協力要請を行う。
 - b 財団に関する卓話(クラブフォーラム、ポリオの説明、グローバル補助金の説明、財団ビデオ視聴等)を行う。
- (オ)グローバル補助金
- 新規のグローバル補助金獲得に向けてクラブで協議する。
- (カ)地区補助金
- 奉仕プロジェクト委員会と協力して行う。

3. 予算 60,000円

クラブ広報委員会

理事・委員長 大田 由孝



1. 方針

「つながりを深め、発信するクラブへ」
デジタル基盤(ホームページやNAS)を最大限に活用し、会員相互の親睦と、地域社会への分かりやすい情報発信を継続します。活動の「楽しさ」を可視化することで、クラブの魅力向上と退会防止・会員増強に寄与します。
※NAS(データ保管用ハードディスク)

2. 計画

- ① ホームページによるタイムリーな広報
例会や奉仕活動の様子を、鮮度の高いうちに公開します。定型フォーマットを活用し、担当者の負担を抑えつつ、活気ある活動状況を内外に伝えます。
- ② デジタル資産の蓄積と共有(NASの運用定着)
活動写真はNASへ速やかに保存する習慣を定着させます。これらをデジタル会報誌や、次年度以降の50周年記念行事の資料として即座に活用できる体制を維持します。
- ③ デジタル会報誌の継続発行
IT化の流れを継続し、デジタル会報誌を発行します。必要部数の紙媒体併用も継続し、全会員への情報伝達を確実にを行います。
- ④ 外部メディア・公共機関への働きかけ
社会貢献活動など、ニュース性の高い事業については積極的にプレスリリースを行い、地域におけるクラブの存在感を高めます。
- ⑤ マイロータリーの活用促進
新入会員を中心に登録をサポートし、ロータリーに関する知識の習得や国際リテラシーの向上を支援します。
- ⑥ 50周年に向けた準備とリクルート支援
節目となる50周年に向けて、広報の立場から過去の記録整理やPR動画の検討などを進めます。また、HP等を通じて「入会したくなるクラブ」の雰囲気づくりを行い、会員増強を後押しします。

公共イメージ

委員長 上土井 幸始



1. 方針

クラブやローターアクトクラブ活動実績について写真を撮影し、HPおよび会報誌に掲載することで、広島中央ロータリークラブについて、クラブ内部メンバーのさらなる結束を強め、また、潜在的な加入希望者をはじめとするクラブ外部の方々に具体的なイメージを共有してもらえるようにします。

2. 計画

- ①委員会メンバーで順番を決め、HPおよび会報誌用に写真を撮影します。
- ②撮影した写真データを随時NAS（データ保管用ハードディスク）に保存します。
- ③例会の様子、卓話講師や卓話の内容等、様々なクラブの活動をHPにタイムリーに掲載します（次年度から運営会社に変更されるため、適宜打合せ、調整をしながら進めます。）。あわせて、情報の正確性のチェックを行います。
- ④MY ROTARYへの登録を促進します。
- ⑤デジタル会報誌を引き続き作成し、数部紙媒体でも配布します。
- ⑥クラブ50周年についての取り組みを検討します。

3. 予算

HP更新料	132,000円
ドメイン更新料	26,400円
月間システム管理料	636,600円
会報誌作成料	594,000円
合計	1,389,000円

クラブ管理運営委員会

理事・委員長 好永 裕一



1. 方針

2026-27年度の会長方針「絆を深め、未来へつなぐ」の基、クラブ管理運営委員会では、各委員会と緊密に連携し、会員相互の親睦を深めながら、会員の皆様にとって効果的で魅力あるクラブ運営となるよう努めてまいります。
各委員会の方針・計画の概要は以下のとおりです。

2. 計画

親睦委員会では、「参加して楽しい、また来たくなる親睦」をテーマに、幅広い世代の会員が楽しめる魅力ある親睦行事の企画・運営、新会員の早期定着支援、例会での交流促進を行います。年間を通じて夜間例会等を実施します。

プログラム委員会では、月間テーマに沿った卓話を企画するとともに、ロータリーの原点「人と人のつながり」をベースに職業・世代を超えて相互理解が深まる内容の卓話を実施します。また、会員卓話も積極的に取り入れ、会員同士の絆を深めます。

S.A.A・出席委員会では、例会をはじめ全ての会議が楽しく秩序正しく運営されるよう設営・監督します。出席率100%を目指し、欠席連絡の徹底とメイクアップ確認を行います。

会計委員会では、理事・役員と収入支出の見込額及び執行状況に関する情報を共有し、連携しながら予算編成及び執行状況の管理に取り組みます。

S.A.A.・出席

委員長 大本 恭久



1. 方針

S.A.A（会場監督）として、例会をはじめ、すべての会議が楽しく、秩序正しく運営されるよう、常に心を配り、気品と風紀を守り、会合がその使命を発揮できるように設営、監督する責任感を持ち、会長・幹事・各委員長とのコミュニケーションを図りながら人と人とのつながりを大切にする例会等の円滑な運営をサポートして参ります。

また、ニコニコ箱においても会員、家族、事業などの慶び事、お祝い事をニコニコしながら披露し、慶びを分かち合い、また失敗したり、迷惑をかけた時もユーモアたっぷりに苦笑し、例会を賑わせられるような投稿をして頂けるよう推奨して参ります。

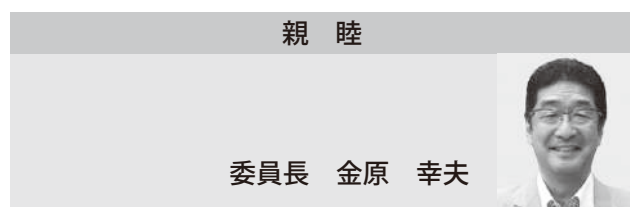
出席委員として、例会への毎回の出席は大変ではありますが、例会への出席はロータリアンにとって最小限の奉仕と言われており、出席することで親睦が得られ、奉仕の理

想が高められると考えます。各委員会とも連携をし、皆様が「また、出席したい!」と思っていただけるような例会作りを目指していきます。

2. 計画

- ①出席率100%を常に目指します。
- ②欠席等の連絡は徹底して頂けるよう周知し、メイクアップの予定を確認するようにします。
- ③会員の皆様とのコミュニケーションを大切にできるよう、例会案内、ニコニコ投稿のお願いを例会がある日は必ずしていきます。
- ④第2月曜日と第4月曜日の昼食をビュッフェにします。
- ⑤半年に1回、会員同士の交流促進のための席決めのくじ引きを行います。

3. 予算 150,000円



1. 方針

次年度親睦委員長を拝命し、会員の皆さまがより親しみを感じ、参加しやすいクラブ運営に寄与できるよう努めてまいります。ロータリーの基本である「親睦と奉仕」を中心に、会員同士の交流促進とクラブ活性化を図ることを本委員会の使命といたします。

そこで、次年度は「参加して楽しい、また来たくなる親睦」そして、会長方針である「絆を深め、未来へつなぐ」をテーマに、クラブ全体の活力向上につながる施策を進めます。

【重点方針】

- ①未来へつなぐ、魅力ある親睦行事の企画・運営
幅広い世代の会員が楽しめるイベントづくりを行い、家族参加型行事も充実させます。
- ②新入会員の早期定着支援
歓迎会や紹介プログラムを実施し、クラブに馴染みやすい環境を整えます。
- ③絆を深める、例会での交流促進
会員紹介の場や、小さな交流企画を取り入れ、「例会に行く楽しみ」をつくります。
- ④透明性のある委員会運営
年間計画を明確にし、迅速な情報共有と円滑な運営を徹底します。

広島中央ロータリークラブは、互いを大切にする温かいクラブです。

その雰囲気を次年度さらに高め、“集まることが楽しみになるクラブ”を目指してまいります。

本年度が会員の皆さまにとって楽しく充実した一年となるよう、委員会一同、全力で取り組んでまいります。

会員の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 計画

- ① 7月25日(土曜日)
納涼(花火大会)・家族夜間例会 (プリンス)
- ② 10月19日(月曜日)
3RC合同夜間例会 (ANA)
- ③ 11月30日(月曜日)
創立48周年・記念夜間例会 (プリンス)
- ④ 12月19日(土曜日)
クリスマス・家族夜間例会 (プリンス)
- ⑤ 3月29日(月曜日)
春うらら・花見夜間例会 (BBQ)
- ⑥ 5月～6月頃
カーブ観戦・夜間例会 (MAZDA)
- ⑦ 6月21日(月曜日)
年度末・最終夜間例会(点鐘引継) (プリンス)
適宜開催 新入会員歓迎例会・各種慰労会
※プリンス : グランドプリンスホテル広島
※ANA : ANAクラウンプラザホテル広島
※MAZDA : MAZDA ZOOM-ZOOMスタジアム広島
※BBQ : THE BBQ GARDEN in HIROSHIMA

3. 予算

- ①夜間例会・家族会等 補助費用 4,500,000円
- ②会員記念日等 補助費用 700,000円

プログラム

委員長 淀江 晃太郎



1. 方針

クラブ会長方針でもあります「絆を深め、未来へつなぐ」に基づき、ロータリークラブ内外から卓話講師を積極的に招致することで、会員同士の相互理解を深め、新たな知見を得られるよう魅力ある卓話時間にしたいと思います。

また卓話の講師を招致するにあたり、ロータリーの原点である「人と人のつながり」をベースに職業や世代を超えてお互いが理解し、絆が深まる内容の卓話をお願いしようと考えています。

2. 計画

- ・月間テーマに沿った卓話になるような講師の招致。
- ・クラブ内の会員同士の相互理解を深め絆が深まるように会員卓話も積極的に取り入れる。

3. 予算 320,000円

会 計

委員長 芥川 宏



1. 方針

会計委員はもとより、理事・役員にも収入支出の見込額及び執行状況に関する情報を共有していただき、連携しながら、予算編成及び執行状況の管理に取り組みます。

2. 計画

各理事・委員長より、過去の実績を参考にしながら、今年度の事業計画に即した予算を立てていただき、クラブ全体の収支状況等も勘案して、予算編成を行いたいと考えております。

また、予算執行の管理につきましては、会員数の増減や物価上昇等の諸要因も勘案し、必要適切な見直しを行いながら、健全な財務運営が図られるようにしたいと考えております。

3. 予算 0円

国際交流基金特別委員会

委員長 宗正 俊文



1. 方針

当委員会は、国際交流を通じてクラブの親睦と国際理解の促進を図ることを目的とし、当基金は創立10周年記念事業として設立され、国際交流支援の基盤として一定の役割を果たしてまいりました。

一方、近年の金融環境の変化により従来の運用では十分な成果を得ることが難しく、基金の在り方の見直しが求められております。

今後は創立50周年を見据え、基金の意義と役割を整理し、持続可能な制度となるよう運用方法の見直しおよび規約の整理・改正の検討を進めてまいりたいと思います。

2. 計画

- ①創立50周年を見据え、時代に即した基金の運用方法の在り方、規約の整理および改正等、制度整備の検討。
- ②奉仕プロジェクト委員会等との連携を図り、基金を活用した国際交流支援の具体案の検討。

3. 予算 0円

戦略計画委員会

委員長 山野井 秀樹



1. 方針

戦略計画委員会として創立50周年に向けた中期的な戦略や人生100年時代に向け如何に健康で長生きするか、またクラブの柱として奉仕に関しては、国際奉仕の在り方にかんして中長期的なビジョンを立案し、今後の広島中央RCが益々繁栄するための長期的な活動に関して協議し実行に向けて考えます。

2. 計画

- ①創立50周年に向けクラブの中期計画を策定する。
- ②人生100年時代に向けた健康維持に関し有益な情報発信をし、今から行える健康維持の取り組みについて検討する。
- ③現在クラブ単独で行っている国際奉仕活動に関して長期的に活動することについて有益な方法を考える。
- ④地区補助金事業に関して、マンネリしている状況に関して中長期的な対策を検討する。

3. 予算 50,000円

がん予防啓発推進委員会

委員長 小林 正夫



1. 方針

がん（悪性新生物）は本邦死亡原因の第一位（1981年から第一位を継続中）であり、2024年度の統計では死亡総数384,111人で全死亡の23.9%を占めている。一方、がんの診断を受ける総数は年間約100万人であり、生存率は上昇しているものの、がん罹患の頻度は増加している。本クラブでは10年以上にわたり、がん予防啓発推進に積極的に取り組み、がん予防12か条プラス1が提案され、がん検診率の増加とともに、予防啓発の成果が認められている。

2019年のデータから日本人男性が生涯のうちにがんと診断される確率は65.5%（約3人に2人）、日本人女性は51.2%（約2人に1人）と推計されている。2人に1人以上ががんに罹患することを考えると、予防と同時にがんケアも重要であり、検診による早期発見とともに、がん罹患患者とその家族の包括的なケアの重要性が必要となる。2025年7月に「NPO法人がんケアリングセンター広島」をボランティアとして立ち上げ、活動を開始した。2026年6月に卓話としてセンターの紹介を行ったので、2026-27年度は予防と同時にがんケアに焦点をあてた活動を行う。

2. 計画

- ①がん予防ならびにがんケアリングに向けた意識調査
- ②がん予防、がんケアリング、健康寿命延伸に向けた卓話の企画

3. 予算

卓話・講演会講師料	10,000円	
調査印刷費	10,000円	
郵送費	10,000円	合計 30,000円
